

- 問1 日本の太平洋側にある三陸海岸の沖合では、北からの寒流と南からの暖流が出会う海域が存在します。この海域で交差する寒流と暖流の組み合わせとして適切なものを、次のうちから選びなさい。（2025年 徳島県公立入試 類似）
1. 寒流：対馬海流 暖流：リマン海流      2. 寒流：親潮 暖流：黒潮      3. 寒流：リマン海流 暖流：対馬海流      4. 寒流：黒潮 暖流：親潮
- 問2 東北地方の各県の特徴についてまとめた記述のうち、秋田県に該当するものとして正しいものはどれですか。（2016年 三重県公立入試 類似）
1. 「みちのくの小京都」とも呼ばれる角館に武家屋敷群が残り、夏には稲穂に見立てた提灯を掲げる竿燈まつりが行われる。      2. 伝統的な将棋駒の生産が全国シェアの大半を占めており、さくらんぼの生産などの果樹栽培が広く行われている。      3. 世界文化遺産に登録されている中尊寺金色堂などの歴史的建造物があり、伝統工芸品として南部鉄器がつくられている。      4. 巨大な武者人形を乗せた山車を曳き回すねぶた祭りが有名で、全国一の収穫量を誇るりんごの栽培が盛んである。
- 問3 日本の各地方における農業産出額の内訳を比較した際、関東地方や近畿地方では野菜の割合が相対的に高いのに対し、ある地方では米の割合が32%を超えて三地域の中で最も高くなっています。あきたこまちなどの産地銘柄米の生産が盛んな、この地方の名称として正しいものを選択してください。（2021年 鳥取県公立入試 類似）
1. 近畿地方      2. 関東地方      3. 九州地方      4. 東北地方
- 問4 青森県と秋田県にまたがり、世界最大級の原生的なブナの天然林が分布していることから、1993年に世界自然遺産に登録された山地はどれか。（2024年 青森県公立入試 類似）
1. 知床      2. 白神山地      3. 奥羽山脈      4. 北上高地
- 問5 海面養殖業による「わかめ類」の収穫量において、岩手県が全国の38.8%、宮城県が32.1%を占め、この2県だけで全国の約7割に達しているという統計データがあります。このように、三陸海岸沿岸でわかめ類の生産が非常に盛んである理由を説明したものとして、最も適切なものを選びなさい。（2019年 富山県公立入試 類似）
1. 寒流の親潮と暖流の黒潮がぶつかる潮目（潮境）に位置しており、プランクトンが豊富で魚の種類が多いため。      2. 複雑に入り組んだ湾内は、周囲の地形によって外海からの波が遮られ非常に穏やかであり、養殖施設の設置に適しているから。      3. 海岸付近に大規模な干拓地が形成されており、真水と海水が混ざり合う広大な浅瀬が人工的に作られているから。      4. 水深200mまでの浅くて平坦な大陸棚が広がっており、太陽光が届きやすいため海藻類の成長に好都合だから。
- 問6 東北地方では、米の農業生産額が全国シェアの約25%を超えるほど稲作が発展していますが、このように「日本の食料基地」と呼ばれるまでに至った背景や工夫として、最も適切な説明はどれですか。（2024年 福井県公立入試 類似）
1. 冬の積雪を農業用水として利用するために、山間部の傾斜地を切り拓いて数多くの棚田を造り、生産量を増やしたから。      2. 政府の減反政策に対応するため、米の生産面積を縮小し、付加価値の高い果樹栽培へ全面的に転換を図ったから。      3. 化学肥料に頼らない伝統的な農法を維持し、小規模な家族経営の農家が多品目の米を少しずつ生産する体制を守ってきたから。      4. 寒冷な気候による冷害を克服するために、耐寒性の高い品種への改良や、大規模な土地改良事業が進められたから。
- 問7 夏に太平洋側から冷たく湿った風が吹いた際、奥羽山脈を境にして宮古市周辺と秋田市周辺で気温に差が生じる理由として最も適切なものを選びなさい。（2022年 宮崎県公立入試 類似）
1. 太平洋側の宮古市側だけに暖流が流れており、山脈を越えると急激に冷やされるため。      2. 宮古市側で発生した大量の降水によって熱が奪われ、その冷気が奥羽山脈を越えられずに留まるため。      3. 秋田市側には夏の間ずっと強い南風が吹き続けており、奥羽山脈がその風を太平洋側に遮るため。      4. 風が奥羽山脈を越えて秋田市側へ吹き下りる際に、空気が乾燥して気温が上昇するフェーン現象が起きるため。
- 問8 東北地方の太平洋側では、夏にオホーツク海高気圧から冷たく湿った気流が流れ込むことがあります。この影響で、7月や8月の平均気温が平年より大幅に低くなり、農作物の生育が妨げられる「冷害」が発生する原因となる風の名称を答えなさい。（2018年 徳島県公立入試 類似）
1. からっ風      2. 季節風      3. やませ      4. フェーン現象
- 問9 東北地方の岩手県から宮城県にかけての太平洋沿岸には、山地が沈降してできた複雑に入り組んだ海岸線が続いています。このような地形を利用してカキやワカメなどの養殖が盛んに行われていますが、この地形の名称として正しいものはどれか。（2019年 広島県公立入試 類似）
1. 大陸棚      2. リアス海岸      3. 扇状地      4. 三角州
- 問10 北陸地方の石川県に位置し、江戸時代には加賀藩の拠点として栄えた都市Xは、現在も県庁所在地となっている。この都市Xの成り立ちを示す都市形態として最も適切なものはどれか。（2018年 北海道公立入試 類似）
1. 門前町      2. 港町      3. 宿場町      4. 城下町
- 問11 青森県の人口ピラミッドの推移において、底辺が狭く高齢層が厚い「つぼ型」の特徴が顕著に表れ、少子高齢化が最も進行していることを示すグラフに対応する年代として正しいものはどれですか。（2025年 青森県公立入試 類似）
1. 2020年      2. 1980年      3. 2000年      4. 1990年
- 問12 山形県の酒田市には、明治時代に建設された「山居倉庫」などの米の貯蔵庫が今も保存されています。このような施設が最上川の河口付近に作られ、現在まで景観として残されている理由や背景として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 東京都公立入試 類似）
1. 庄内平野が海に面しており、冬の季節風による塩害から収穫したばかりの米を一時的に避難させるための防風施設が必要だったため。      2. 最上川の急流を利用した水力発電によって得られた電力を使い、米を精米してすぐに輸出するための臨海工業地帯を形成するため。      3. 庄内平野で収穫された銘柄米を、北前船などの海運を利用して運ぶまでの間、品質を維持しながら大量に保管する必要があったため。      4. 最上川の水源である西吾妻山からの豊富な雪解け水を利用し、米の代わりに酒造りを行うための醸造施設として活用するため。
- 問13 東北地方のある地点の気候統計において、12月と1月の降水量が200mmを超えて年間で最も多く、夏よりも冬の降水量が多いという特徴が見られる場合、その地点の場所と気候区分の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2019年 富山県公立入試 類似）
1. 宮城県の仙台平野 — 太平洋側の気候      2. 岩手県の沿岸部 — 太平洋側の気候      3. 北海道の東部 — 北海道の気候      4. 山形県の内陸部 — 日本海側の気候